

## ロイヤルエンフィールド、新型「Super Meteor 650」を発表



- **ロイヤルエンフィールドがEICMA2022(2022年 ミラノ・モーターサイクルショー)で待望のサラブレッド・ハイウェイクルーザーを公開。121年の歴史を持つロイヤルエンフィールドの伝統を受け継ぎ、長距離走行に最適なモーターサイクルを新たな次元へ昇華。**
- **定評のある650cc並列二気筒エンジンに、クルージングに最適化した新型シャシーを採用、快適性と高速道路での軽快な走行を実現。**
- **Super Meteor 650とSuper Meteor 650 Tourerの2モデル、計7色のカラーバリエーションをラインアップ。**

**2022年11月9日、イタリア・ミラノ発:** 中型モーターサイクル・セグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、非常に個性的、スタイリッシュでありながら、より多くのライダーをターゲットにした新型 Super Meteor 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)を中型クルーザーセグメントに導入することを発表しました。

Super Meteor 650は、ロイヤルエンフィールドが長年培ってきた比類のないクルーザーモデルを継承しています。2018年のデビュー以来、数々の賞を受賞してきたINT 650(アイエヌティ・ロクゴーマル)とContinental GT 650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)で使用され、世界的に高い評価を得ている648ccパラレルツイン(並列二気筒)エンジンプラットフォームをベースに使用しています。Super Meteor 650は、来年までにアジア太平洋地域市場向けに順次発売が開始される予定です(\*)。

ロイヤルエンフィールドのクルーザーの系譜とモーターサイクル製造へのアプローチについて、ロイヤルエンフィールドの親会社であるアイシャーマーターズ・リミテッドのマネージングディレクター、シッダールタ・ラルは、次のように述べています。

# ROYAL ENFIELD

「我々はモーターサイクル造りに対して、常に新しく差別化されたアプローチを持っており、新型クルーザーでありロイヤルエンフィールドの最上級モデルとなる Super Meteor 650 はそれを具現化したものです。私たち自身、そしてお客様の長距離ライディングの経験からインスピレーションを受けたこのモデルは、あらゆるライダーが五感で楽しむことができます。エンジンは洗練され、レスポンスも良く、高速道路で軽くスロットルを開ければリラックスした走りが楽しめ、また、人間工学に基づいた設計により、自然で確実な操作も実現しています。また、パーツや素材の高い質感は、視覚的・感覚的な喜びをライダーに与えてくれることでしょう。Super Meteor 650 の華麗なシルエットとラインは、ロイヤルエンフィールドの歴代クルーザーからインスピレーションを得ており、親しみやすさと同時に、唯一無二の個性を備えています。」

クルーザーの真骨頂である Super Meteor 650 は、人間工学に基づき、リラックスできるポジションとシンプルで直感的な操作スイッチとメーターが組み合わされ、高速道路での安定した走り、ワインディングロードでのシャープなコーナーリングを楽しむことができます。しなやかで非常に滑らかなフィーリングのエンジンはあらゆる走行時に頼もしいトルクを発揮し、クールでレトロなスタイリングにはロイヤルエンフィールドの DNA がはっきりと息づいています。

Super Meteor 650 を支えるエンジニアリングについて、ロイヤルエンフィールドの最高経営責任者 (CEO) である B・ゴヴィンダラヤンは次のように述べています。

「650 パラレルツインエンジンプラットフォームの開発当初から、私たちは真のハイウェイクルーザーを設計・製造するという明確な意思を持っていました。当初の想定よりも時間がかかってしまいましたが、ようやく実現することができたことを大変うれしく思っています。このツインエンジンは、INT650 やコンチネンタル GT 650 の世界的な大成功の核となったもので、このプラットフォームが、新しいクルーザーとして、ロイヤルエンフィールドの新しい顧客を世界中に創り出すと確信しています。」

ロイヤルエンフィールドは、長年にわたり、今までになかったモーターサイクルを導入することで新たな市場を確立し、特に、クルーザー市場に大きな貢献をしてきました。1950 年代半ば、今日のクルーザーのいわば原型とみなされている Redditch Super Meteor (レディッチ・スーパー・メテオ) を米国市場向けの輸出モデルとして生産したのは、クルーザーというジャンルが確立される数十年以上前のことでした。

さらに 2020 年には、「J シリーズと呼ばれる新たなプラットフォームを採用した Meteor 350 (メテオ・サンゴーマル) を発表し、世界的な成功を収めました。Meteor 350 は、繊細さ、高い品質、そして最も重要な乗り心地の新基準を、非常に短い期間で定義しました。街中でも郊外の開けた道でもスムーズに走行できる Meteor 350 は、欧州で大好評を博したのちに世界中のライダーの心をも掴みました。

今回発表された Super Meteor 650 のモデルラインアップとカラーバリエーションは以下の通りです (※)。

Super Meteor 650: アストラル・ブラック、アストラル・ブルー、アストラル・グリーン、インターステラ・グレー、インターステラ・グレー

Super Meteor 650 Tourer (ツアラー): セレスティアル・レッド、セレスティアル・ブルー

ロイヤルエンフィールドはこのモデルの導入によりあらゆるクルージングを楽しんでいただけると確信しています。

※Super Meteor シリーズの日本市場への導入時期とモデルは決定次第ご案内いたします。

# ROYAL ENFIELD

## <ロイヤルエンフィールド社について>

ロイヤルエンフィールドは、1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ちますが、1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは、魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちが Pure Motorcycling (ピュア・モーターサイクリング) と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、新型クーラー「メテオ 350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「コンチネンタル GT650」、アドベンチャーツアラー「ヒマラヤ」、アイコンックな単気筒モデル「クラシック 350」などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは、各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し、何千人ものロイヤルエンフィールドファンが集まる「ライダーマニア」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤン・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited (アイシャーモーターズ・リミテッド) の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に 2,100 以上の販売ディーラーを、また世界 60 カ国以上に約 850 の販売ディーラーを展開しています。またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランディンググループとインドのチェンナイの 2 箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの 2 箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、タイ、アルゼンチン、コロンビアの 3 ヶ所に最新の CKD (コンプリート・ノックダウン) 組立施設を有しています。過去 5 年間の CAGR (年平均成長率) は 37% 以上、2021-22 年の国際市場での売上は前年比 108% 増と、ロイヤルエンフィールドは世界の中型モーターサイクル市場をリードしています。

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は、下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.royalenfield-tokyoshowroom.jp/>

## 製品に関するお問い合わせ先

ピーシーアイ株式会社 (ロイヤルエンフィールド正規輸入販売会社)

E-mail: [press@pci-ltd.jp](mailto:press@pci-ltd.jp)

## 報道関係者のお問い合わせ先

Royal Enfield 日本 PR 事務局 (アソビバ合同会社内) 担当: 三屋(みつや) 050-5604-0821

TEL: 03-4572-0690 [royalenfieldjpn\\_pr@asovivapr.com](mailto:royalenfieldjpn_pr@asovivapr.com)